ō

あ

るは

易

の

0

記

心なけ

|疾くに御承知の筈と考

~~

候

大正

十二年

应

月

藤野寄

命

記

ガ

其

ン

デ

ァ

n

稿

K

|井吉野ヲ大島櫻ト間違 3/ 經 緯

を附 井 疑 b テ 見 懴 下ノ がはれ 闎 ī 杳 + 屬 桑井 받 ir 野 irc し事 多く 加 ぬすと謂 ĭ ラ Ó 友 ŭ 7 7 其當 言 品が rÌ 玶 染井 ፌ ありし又松村博 誌上 7發見 ハ 存在す レ 時 ベ 精養 一デ藤 邊 タ õ より 是 動 ĥ するを認 輧 野 予 舠 v 機 來 前 = 翁 it 種 は ると 故 ф 明 涌 ノ な h 公 1: Ħ Ħ 3 テ 邊 觀 申 = 3 中 とと分 下芳男先: 真吉野 此品 Š ic ¥ v 乜 栽 Ū N ラ 知 ح 植 其 崩 'n v 一發表 當 生 Ö (山村 櫻花) シ **V**Q IC 該 一の指 故 辟 なり 屯 七 は何 樹 干 假 歷 IC it ハ 主の 導 梅唉 上 车 名 近 史 飞 73 基く 頃 车 7 老 吉 ガ づ ź, Ú 移 能通 齡 野 其 植 なる を以 Ĺ 7 ÿ Ö 原 分 なり デア 品 懚 0 始 ર્જ を以 ñ 7 種 rt ュ 其 ŏ と區 n 予 ń 寅 な 工 ガ 7 眞 z) ども植 氼 尙 冗 別 ર્જ n 彼 、之を見 Щ 泔 = 生 水 す 孰 其 る 中 同 前 物學 先 女 253 類 n 氏 此 Ì 爲 生 ヲ 事. 初 ハ 一會長 今囘 など 揭 h Ł めめ Ш 來 世 グ 附 L なれ ば h n 與 人 は 鞱 書面 或 IC 故 くせし名 Ĺ ع はか 告ぐ。 ば 即 田 õ 大島 予 園 チ 中芳男先生の慧眼 外 = ž: 1 <u>__</u> なれども、 3 M リ之レ (大正 寄送の 產 掛 此染井吉 な 小島某氏 此 5 不 九 草 h = 明 附記 此 Z) 野 な 人櫻花 とも Ó IC る 名 **≥**⁄

〇染井吉野ヲ大島櫻ト間違へシ經緯

野 太 息

牧

櫻 ١, Ħ 變種 ヲ , Ħ ኑ 見 樣 テ 同 デ 3) ハ 東京麻 大灌 認 Æ ŀ 迆 往 井 × デ 櫻 ラ R 伊 布 v v 肂 ・テ居 豆 ゥ 學 書 井ゎ 大島 盐 農 種 1 ッ 特 社 ァ タ 野の ァ = 主 別 72 ŀ 在 w ŀ ハ 故 櫻 全 n 3 ガ 7 デ 7 ŀ Æ 別 津 1 = ッ ァ ダ Ж テ \mathbf{H} , n 私 品品 ŀ 逢 仙 = 君 フ ナ ŀ 種 デ ŀ, ガ デ 其 テ 7 ハ 眀 兩 大貴ヲ 公 居 ラ 者 カ ゥ A , = n 歸 間 Y 然 ŀ ナ セ ガ 思 ッ = ŀ ネ ァ ッ 何 フ テ ッ 今 ゥ 居 N , 關 ナ 吹 タ 日 N j ガ 1 デ 聽 係 ヌ ヲ モ ₹⁄ æ 事實ガア 見 其 Ø 辟 ナ 元受ケ 當 Æ رر ィ 嵵 我 ノ 7 デ 筝 タ ŀ n 舊 ア ガ ŀ 說 N 社 能 其 會 ソ ガ = 'n 化ダン 分 デ ァ 故 サ Æ IJ 其 之 即 = 舑 ゥ 此 テ v チ 染井 デ 大 誤 分 ガ ァ 島 同 講 n 吉 櫻 ヲ ジ 明 演 ナ 野 者 山岩 筀 デ 大島 Þ 記 ァ 櫻 事. ナ

) げんげノ音ハ 翹々ノ 國語化

力

ジ者 方ナキ 年前 y 地デ古來 知友都築省 ガ ガ 逐二 私 间 ガ 坌 來 ッ 丰 島 エデア |演ヲ爲 テ 日ワザ タ大島櫻 後 染井吉 其 居 時 ガ 氵 ダ 探險 昨夕 ッ 3 ナ v n クザ 謂 津 Ź ŀ タ タ ŋ = 年同 田 野 グガ 婦 獬 取 = 君ガ之レヲ見、 ュ ŀ アッ つデアッ 八人ノ デ裸 君ニ 極 ,其花枝ヲ使ニ 逅 ヨッテ分ッ ŀ 思 'n 櫻株が はメ其通 島 ガ フ ٠, / テ今花 ナカッ いデア ル ァ 或 頭 誤 ッ 大島櫻ヲ見 4 タ(今其標本 n 髪が特ニ ラ シリ時々 タ 同 车 ヌ 元ガ咲 B, ガ之 櫻 ŀ v Ì 早速ニ、 持タ 席 四 テ ガ 同 世一 遠キ イ 辯 長ク延ビ且ツ黑 時 ŀ 月 V ッ セラ私 · テ居 = ン ジ = = = = ガ私 一參リシ ダ罪 發表 了 早 引カへ染井吉野 昔カラ同 タ デ ノ駄詠 、大島櫻 n ッ 稻 さもあらん土器櫻毛をたえて島の乙女の黒髪となる , カ 作 ノ Herbarium 中ニ在ルト シ 7 タ後チ會ニ 田 ラ リヲヲ タモ 宅 時 ヲ / 明日其 大隈 萬 島 = ッ、 仕 贈 かり 艶 **レノミガ** ノデアル其後大島櫻 デ發達シ ッ、 土器の花の名稱なふ島ざくら稗蒔ざくら見つかりもせず染井吉野ガ見付カリハシナイカト其地此地島內ヲ歩イテ見々 タモ ッ 侯 テ下 参ラレ v レガアル ذر ヲ進 郷 薬柄ニモ 此 ノダ今日デハ染井 テ居 島ニ ・サッ 內 ゔ 7 呈 デ 繁殖 扂 ハッタ 夕 シ H ハ日常此 花梗ニ 其レ 3 y 本 ゥ タ津田 唯一ノ證 園 **≥**⁄ 思フ) ソコデ匆 ジェ ・ヲ見 此 居 æ ル 櫻 椿油ヲ附 一吉野 細 仙 體 = N ŀ 並 君ガ言 毛 據 . ガ 分 ガ生 グデア ハ伊豆 花 ガ 櫻 蚏 n ガ ケ 疎 二從ッ 工. N 々大島櫻 ョリ實ガ ア = w テ居ル ナッ ラニ 此 π 1 ッ 乜 `\ = 大島 大島 テ 1 着 テ私 其 ダ Ø 今 イイテ 大 席 カラ 櫻 = ハ ハ即チ染井 ŀ (同島ハ椿油ノ名産 私 言 ハ 屯 キ Ŀ H 從來無 直 葉 早速 ٠ デ私 同 才 ノ ハ 庭内ニ 居 モ グ = 島 v 能 ノ無ック テ居 = モ ガ 花 吉 デ 櫻 區 非 Þ 大島 ŕ ア 别 梗 ヲ 野 ガ 紛 改 N 就 ŀ ガ = 村 ۶ B 同 フ ŀ テ ッ Æ

○復タモ『斷枝片葉』ニ誘ハレテ

吟ヲ下

Ŋ,

スッ

東京植物同好會々員中尾清太郎

牧野先生ハ「或ハ本來ガげんげはなデれんげばなハ學者ガ賢ク後デ解 ヺ

復タモ『斷枝片葉』ニ誘ハレ